

## 気道異物の除去について

大館市消防本部では、応急手当として心肺蘇生法や AED の取り扱い方法、気道異物の除去、また、その他の応急手当に関する救命講習会を開催しています。

### 【気道異物の除去の方法】

※口やのどなどに異物（食べ物など）が詰まっている場合

#### ①傷病者に反応（意識）がある場合

- ・ 傷病者に「のどが詰まったの？」とたずね、声が出せずうなずくようであれば、窒息と判断し直ちに行動しなければなりません。
- ・ 119番通報を周りの人に依頼するとともに、直ちに次の二つの方法を数回ずつ繰り返し、異物が取り除けるか、傷病者の反応がなくなるまで異物の除去を試みます。
- ・ 傷病者が咳をすることが可能であれば、できるだけ咳をさせます。

#### ①腹部突き上げ法

- ・ 傷病者を後ろから抱えるように自分の腕を回します。
- ・ 片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへその上で、みぞおちの十分下方に当てます。
- ・ その手をもう一方の手で包むように握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げます。



腹部突き上げ法

## ②背部叩打法

- ・背中をたたきやすいように傷病者の横に回ります。傷病者が立っている場合や座っている場合は、傷病者の後ろに回ります。
- ・手の付け根で、肩甲骨の間を力強く何度も連続してたたきます。



背部叩打法

- 明らかに妊娠していると思われる女性や高度な肥満者には、腹部突き上げ法は行わず、背部叩打法のみ行います。
- 横になっている傷病者が自力で起き上がれない場合は、背部叩打法を行います。
- どちらの方法も実施可能な状況で、どちらか一方を行っても効果のない場合は、もう一方を試みます。
- 腹部突き上げ法を行った場合は、腹部の内臓をいためている可能性があるため、実施したことを到着した救急隊に伝えてください。119番通報前に異物が取れた場合でも、病院での診察は必要です。

## ②傷病者の反応（意識）がない場合

- ・反応がない場合、あるいは最初は反応があっても応急手当を行っている際にぐったりして反応がなくなった場合には、直ちに通常の心肺蘇生法の手順を開始します。
- ・心肺蘇生を行っている際に、口に異物が見えた場合には、異物を取り除きます。
- ・口に異物が見えない場合には、異物を探すのに時間を費やさずに、心肺蘇生を行います。